「５月　神川・御嶽山ハイキング」

（御嶽山山頂にて）

5 月 16 日の月例ハイキングは、県内最北に位置する低山ですが岩峰からの展望が素晴らしい神川町・御嶽山(みたけやま 344m)に雨の中でしたが 13 名で行ってきました。

県内「まん延防止等重点措置」が 5 月 31 日まで延長され、段階的緩和措置等が継続されております。今回もマスクの着用で密接・密集を避ける感染防止対策を心掛けての実施でした。

本庄駅に集合、8 時 40 分「神泉総合支所」行のバスで「新宿」で下車。小雨が降り始めた中で国道 462 号線沿いを車両に注意して金鑽神社へ向かいます。

（スタートのバス停）

（R462 号を歩く）

大きな鳥居をくぐり参道に入り、清流公園で雨支度を整えスタートです。右側に国指定重要文化財の「多宝塔」（安保氏の寄進）を見上げ、その先右側に金鑽神社が。

（金鑽神社鳥居）

（多宝塔）

金鑽神社多宝塔

所在地　児玉郡神川村二の宮

金鑽神社の境内にあるこの多宝塔は、三間四面のこけら葺き、宝塔（円筒形の塔身）に腰屋根がつけられた二重の塔婆である。

天文三年（一五三四）に阿保郷丹荘の豪族である阿保弾正全陸が寄進したもので、真柱に「天文三甲午八月晦日、大檀那安保弾正全陸」の墨書銘がある。

この塔は、建立年代の明確な本県有数の古建築であるとともに、阿保氏に係わる遺構であることも注目される。塔婆建築の少ない埼玉県としては貴重な建造物であり、国指定の重要文化財となっている。

昭和五十九年三月

（多宝塔の説明）

（多宝塔を見上げて）

金鑽神社

所在地　児玉郡神川村二の宮

金鑽神社は、国官幣中社で、延喜式神名帳にも名を残す古社である。むかしは武蔵国二の宮とも称された。地名の二の宮はこれによっている。

社伝によれば、日本武尊が東征の帰途、伊勢神宮で倭姫命より賜った火打金を御霊代として、この地の御室山（御後山）に奉納し、天照大神と素盞嗚命を祀ったのが始まりとされている。

鎌倉時代には、武蔵七党の一つ、児玉党の崇信が厚く、近郷二十二カ村の総鎮守として祀られていた。江戸時代には徳川幕府から御朱印三〇石を賜り、別当の一乗院とともに栄えた。

境内には、国指定重要文化財の多宝塔や、平安時代の後期、源義家が奥州出兵のため軍勝祈願を当社にしたときのものという伝説の遺跡「駒つなぎ石」「旗掛杉」「義家槍」などがある。

なお、この神社にはとくに本殿をおかず、背後の山全体を御神体としている。旧官・国幣社の中で本殿がないのはここのほか、金山でも大神神社（奈良県）と諏訪神社（長野県）だけである。

昭和五十九年三月

（金鑽神社の説明）

（金鑽神社へ）

雨の中拝殿前で１枚。（本殿前で）

（本殿前で）

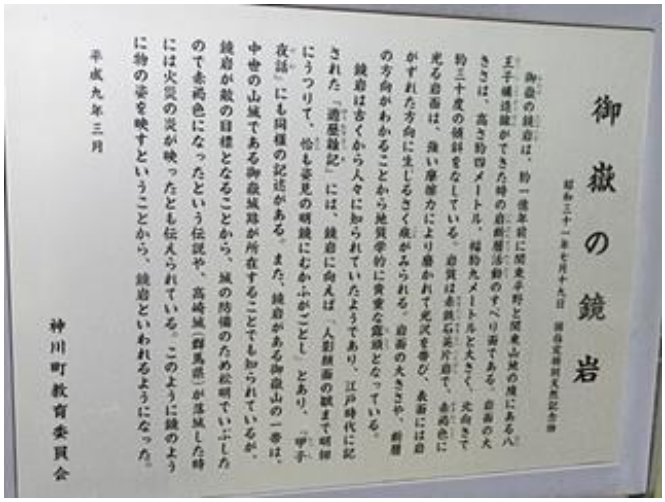
蒸し暑い中で石仏などが並ぶ木段道を登ると国指定天然記念物「御嶽の鏡岩」が。

（神社から山道へ）

（御嶽の鏡石）

これを左に見ながら更に進むと稜線の鞍部に出ます。左にあずまやがある広場で一時休憩です。ここには「石仏群」がありました。

（鞍部への登り）



御嶽の鏡岩

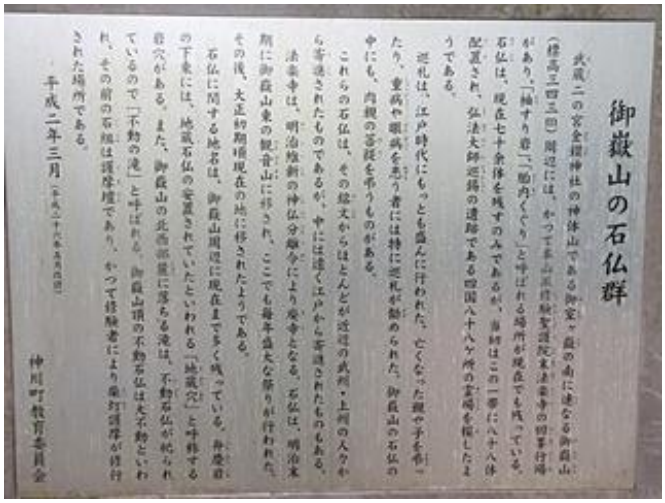
平成九年三月

神川町教育委員会

（鏡岩の説明）

（分岐案内）

（石仏群）



御嶽山の石仏群

平成二年三月

神川町教育委員会

（石仏群の説明）

正面に岩山展望台の岩峰が。岩の滑り具合を確認後、行ける人で展望台まで。天気が良ければ赤城・榛名の山々や城峰山などの展望が楽しめる所でしたが、この日は御嶽山の山容も雨にけむり薄っすらと見える感じでした。

（岩山展望に石祠）

（岩山展望で１）

（岩山展望で２）

（岩山展望で３）

（北方向に御嶽山が）

（西側にはゴルフハウスが）

足元に注意をして下り、裏側にある「弁慶穴」をみてから石仏の並ぶ尾根道を登れば、ロープのある急登で御岳山山頂です。

（弁慶穴）

（御岳山山頂で）

ここは中世の御嶽城郭跡（室町時代に築かれた山城で、城主は安保氏です。堀切・石積み・郭の遺構も見られます。尚、安保氏館跡：神川町元阿保周辺）でもありました。

（御岳城本郭跡柱）

（山頂からの下り道）

抜け往路の分岐まで、更に散策路を歩くとスタートの清流公園に 11 時 40 分到着でした。

雨もやまず、早々に下山です。途中、先ほどの鞍部から南へフカフカした山道を下ると蓮池を

（ふわふわの山道）

天候も悪く昼食を摂る場所もなくバスの時間を繰り上げ 12 時 38 分のバスに乗ることとし、道路反対側の金鑽山大光普照寺（金鑽元三大師）を参拝しバス停に向かいました。
（付記：武蔵二宮・金鑽神社では 8 月 19 日「パラリンピック聖火リレー」の採火をします。採火 17 会場の一つです）

（金鑽元三大師山門）

（大光普照寺本堂）

（大光普照寺前で）

今回は、皆さんワクチン接種予約の話題に話が集中すると共に、雨の中でのハイキングとなりましたが、身体を動かせる楽しさもそれぞれが体感された一日でした。
本庄駅 13 時 15 分到着後、駅前のホテルロビーで、COFFEE と持参の昼食を楽しみ帰りました。

（5 月 19 日　記）

ハイキングクラブ　部長